

1 単元について

対象学年	小学校 第3学年	小学校 第4学年
学習指導要領	第3学年の内容（2）ア、イ	第4学年の内容（5）ア、イ
単元名	「こんにゃくは、ぼくらの村の特産品」 (全14時間)	「へボは、昔から続く村の食文化」 (へボ：学名 クロスズメバチ) (全13時間)
単元目標	<p>こんにゃくの生産・加工販売に関わる人々の工夫や努力に関心をもち、意欲的に調べ、理解したことをもとに、その特色を捉える視点や方法を明らかにすることができる。 (社会的事象への関心・意欲・態度)</p> <p>こんにゃくに関わる人々の諸活動から学習の問題を見だし、見通しをもって追究・解決し、その特色や人々の工夫や努力、国内の他地域との関連について考え、適切に判断することができる。 (社会的な思考・判断)</p> <p>こんにゃくの生産・加工販売の様子を見学したり調査したりして、仕事の特色について具体的に調べると共に、その過程や結果を分かりやすく表現することができる。 (観察・資料活用の技能・表現)</p> <p>こんにゃくの生産や加工販売に関わる人々は、村の自然条件を生かし、生産を高める工夫や努力をしながら栽培をしていることや、他地域に誇ることができるよりよい特産品となるように努力していることを理解できる。 (社会的事象についての知識・理解)</p>	<p>地域の人々の生活の変化や地域に残る食文化（へボを食す）等の文化財・年中行事、それに関わる人々の働きに関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情をもつことができる。 (社会的事象への関心・意欲・態度)</p> <p>地域の人々の生活の変化や文化財・年中行事に関わる人々の諸活動から学習の問題を見だし、見通しをもって追究・解決し、昔の人々の暮らしぶり、知恵や工夫、継承に取り組む人々の工夫や努力、願いについて考え、適切に判断することができる。 (社会的な思考・判断)</p> <p>地域の人々の生活の変化や地域に残る食文化等の文化財・年中行事について、昔の道具や受け継がれている様子を見学したり調査したりして調べると共に、その過程や結果を分かりやすく表現することができる。 (観察・資料活用の技能・表現)</p> <p>地域の生活の変化や過去の生活における人々の知恵や工夫に気付いたり、地域に残る食文化等の文化財・年中行事には、人々の工夫や努力、願いが込められていることを理解したりできる。 (社会的事象についての知識・理解)</p>
配慮事項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <p>単元指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学級園で行っているこんにゃく栽培と重なる教材を選定した。 ・子どもの思考の流れを大切にしたい指導計画となるよう次のような場を設定し、単元を構成した。 単元を貫く共通課題を設定する場 個々のテーマに基づいて見学や調査する場 見学や調査で分かったこと疑問に思うことなどを整理したり交流したりする場 指導内容に基づいて事象の意味を深く追究する場 	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <p>単元指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活と比べやすい昔の道具、食生活とつながる教材を選定した。 ・子どもの思考の流れを大切にしたい指導計画となるよう次のような場を設定し、単元を構成した。 単元を貫く共通課題を設定する場 個々のテーマに基づいて見学や調査する場 見学や調査で分かったこと疑問に思うことなどを整理したり交流したりする場 指導内容に基づいて事象の意味を深く追究する場

<p>単元全体を振り返る場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃくに関わる社会的事象を正しく捉えるために、見学や調査の時間を十分に確保した。 単位時間の工夫 ・特産品の味見、生産者の畑土観察等の体験活動や、こんにゃくの生育状況を示す実物を用いて資料化し、子どもが五感を駆使して意味追究できるように配慮した。また、観察や追究の視点(何を見て、どのように考えるとよいか)を具体的に示した。 ・調査については、事前に何を調べるとよいかを話し合い、子ども自身が見学の視点をもって調べることができるようにした。また、全ての子どもに正しく捉えさせたい事象については、その場で意図的に指導・援助した。 複式学級における個に応じたきめ細かな指導の工夫 ・複式学級において、それぞれの学年の指導内容を確実に身に付けることができるように、単位時間内における「わたり・ずらし」の学習形態の確立等を図った。 (6 .参考資料 資料1 参照) 	<p>自己追究を広げる場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へぼ食文化に関わっては、社会的事象を実感を伴って捉えることができるように、へぼ追い体験の時間を位置づけた。 単位時間の工夫 ・へぼ飯・へぼの巣の実物や昔の道具等を用いて資料化し、子どもが五感を駆使して意味追究できるように配慮すると共に、観察や追究の視点(何を見て、どのように考えるとよいか)を具体的に示した。 ・調査については、事前に何を調べるとよいかを話し合い、子ども自身が見学の視点をもって調べることができるようにした。また、全ての子どもに正しく捉えさせたい事象については、その場で意図的に指導・援助した。 複式学級における個に応じたきめ細かな指導の工夫 ・複式学級において、それぞれの学年の指導内容を確実に身に付けることができるように、単位時間内における「わたり・ずらし」の学習形態の確立等を図った。 (6 .参考資料 資料1 参照)
<p>参考資料</p> <p>資料1：“複式授業の成立”に向けた取り組みについて</p> <p>資料2：“こんにゃく芋作りの名人” Nさん年表 (第5時)</p> <p>資料4：3種類の蒟蒻 (第1時)</p> <p>資料5：特産品マップ (第1時)</p> <p>資料6：K村・こんにゃく畑 (第2～4時)</p> <p>資料7：K村・こんにゃく加工販売所 (第2～4時)</p> <p>資料8：同じ時期に植えたこんにゃく芋の育ちぶりの違い(第11時)</p> <p>資料9：地形を強調したジオラマ (第11時)</p> <p>資料10：土中にしみ込む水の違い (第11時)</p> <p>資料11：Nさんの畑土と学級園の畑 (第12時)</p> <p>資料12：Nさんの堆肥づくり (第12時)</p> <p>資料13：Nさんと学級園の蒟蒻芋 (第12時)</p> <p>資料14：土作りが施されていない土 (第12時)</p> <p>：記載していない資料</p>	<p>資料1：“複式授業の成立”に向けた取り組みについて</p> <p>資料3：“へぼの神様”といわれるMさん年表 (第6～7時)</p> <p>資料15：へぼ飯 (第1時)</p> <p>資料16：「想山著聞奇集」 (第1時)</p> <p>資料17：へぼ追い (第4～5時)</p> <p>資料18：Mさんの生堀りの様子 (第10時)</p> <p>資料19：Mさんの生堀りの手順 (第10時)</p> <p>資料20：Mさんの保存～放ち (第11時)</p> <p>資料21：会員の協力のもと、女王蜂を解き放つ場所 (第11時)</p> <p>資料22：Mさんの失敗 (第11時)</p> <p>資料23：女王バチ一匹だけでつくる巣 (第11時)</p> <p>：記載していない資料</p>

両 単 元 の 指 導 の 流 れ	時	3年生「こんにゃくは、ぼくらの村の特産品」(全14時間)	学級担任による指導	4年生「へボは、昔から続く村の食文化」(全13時間)	時
	1	・こんにゃくを比べてみよう		・へボ飯を食べてみよう	1
	2	・村のこんにゃく畑や加工所はどこにあるの？ (見学・調査)		算数・書写・音楽 (担任以外の職員による指導)	
	3				
	4				
		書写・音楽 (担任以外の職員による指導)		・村の郷土館見学 (見学・調査)	2 3
	5	・じっくり調べたいテーマを決めよう		・昔から今の人々の生活変化をまとめよう	4
		算数(担任以外の職員による指導)			5
	6	・Nさんのこんにゃく畑・芋保存小屋見学 (見学・調査)		算数・音楽 (担任以外の職員による指導)	
	7				
		算数・音楽 (担任以外の職員による指導)		・Mさんのへボ小屋見学 (見学・調査)	6 7
	8	・こんにゃく芋の加工販売所見学 (見学・調査)		算数・書写・音楽 (担任以外の職員による指導)	
	9				
	10				
	書写・音楽 (担任以外の職員による指導)		・「Mさんと共にへボ追い」体験 (見学・調査)	8 9	
11	・この村でこんにゃく芋がすくすく育つわけ		・Mさんのへボの巣掘り	10	
12	・Nさんの土づくり	本時	・女王バチを育て山にかえすMさん	11	
13	・こんにゃく芋100%の特産品を		・受け継ぐぞ、村の文化財・年中行事～単元のまとめ～	12	
14	・お世話になった人から学んだことをお手紙に書こう～単元のまとめ～			13	
<p>見学・調査については、3・4年の両学年に必ず指導する教師がついて学習を進められるように、上記のように指導計画を工夫した。</p>					

2 単元の評価規準（第3学年「こんにゃくは、ぼくらの村の特産品」）

	ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 観察・資料活用の技 能・表現	エ 社会的事象について の知識・理解
内容 のご まとの ま評価 規準	地域の人々の生産や販売の様子に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもとうとする。	地域の人々の生産や販売の様子から学習の問題を見いだして追究・解決し、地域の生産や販売に見られる仕事の特色やそれらの仕事と自分たちの生活や国内の他地域などとの関連について考え、適切に判断する。	地域の人々の生産や販売の様子を的確に見学したり調査したりするとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。	地域の生産や販売の仕事に携わっている人々の工夫を理解している。
単元 の 評 価 規 準	こんにゃくを生産・加工販売に関わる人々の工夫や努力に関心をもち、意欲的に調べ、理解したことをもとに、その特色を捉える視点や方法を明らかにしようとしている。	こんにゃくに関わる人々の諸活動から学習の問題を見だし、見通しをもって追究・解決し、その特色や人々の工夫や努力、国内の他地域との関連について考え、適切に判断している。	こんにゃくを生産・加工販売の様子を見学したり調査したりして具体的に調べるとともに、その過程や結果を分かりやすく表現している。	こんにゃくを生産や加工販売に関わる人々は、村の自然条件を生かし、生産を高める工夫や努力をしながら栽培していることや、他地域に誇ることができるよりよい特産品となるように努力していることを理解している。
学習 活動 にお ける 具 体 の 評 価 規 準	話し合いに意欲的に参加し、こんにゃくを生産や加工販売について関心を示している。 調べたい事柄を具体的に決め、意欲的に調べようとしている。	共通課題に対する自分の学習問題を決め、見通しある計画を考えている。 学習課題について、調査や資料等をもとに、K村の冷涼な気温や山間部の地形、水はけがよい土について比較しながら考え、K村がこんにゃく栽培に適した自然・地形条件であることについて適切に判断している。 学習課題について調査や資料をもとに、Nさんの畑の土と学級園の土を比較しながら色や手触り等が違うわけについて考え、Nさんが土にかける手間の大切さについて適切に判断している。 学習課題について調査や資料等をもとにMさんが生いも100%にこだわっているわけについて考え、消費者に喜ばれる製品作りのためであることについて適切に判断している。	こんにゃく畑の分布や加工販売所の位置を白地図に正しく書き込んだり、分かった事実をノートに記入したりしている。 Nさんからの取材・調査結果をもとに、「一年間のこんにゃく芋栽培の仕方」等の視点別にノートに整理して分かりやすくまとめたり、発表したりしている。 加工販売所のMさんからの取材・調査結果をもとに、「こんにゃく作りの仕方」等の視点別にノートに整理して分かりやすくまとめたり、発表したりしている。	村内のこんにゃく畑・加工販売のための施設・設備の様子・その働きについて理解している。 村の自然環境や、地域の人々の工夫や努力によって、K村のこんにゃくが特産品となっていることを具体的な事実をもとにして理解している。

3 指導と評価の計画（第3学年「こんにゃくは、ぼくらの村の特産品」：全14時間）

(1) 授業の流れ

- 第1次・こんにゃくを比べてみよう・・・・・・・・・・・・・・・・（1時間）
 - ・村のこんにゃく畑や加工所はどこにあるの？・・・・・・・・（3時間）
 - ・じっくり調べたいテーマを決めよう・・・・・・・・（1時間）
- 第2次・Nさんのこんにゃくいも畑・いも保存小屋見学・・・・・・・・（2時間）
 - ・こんにゃくいもの加工販売所見学・・・・・・・・（2時間）
 - ・見学して分かったことをまとめよう・・・・・・・・（1時間）
- 第3次・この村でこんにゃくがすくすく育つわけ・・・・・・・・（1時間）
 - ・Nさんの土づくり・・・・・・・・（1時間）
 - ・こんにゃくいも100%の特産品を・・・・・・・・（1時間）
- 第4次・お世話になった人から学んだことをお手紙に書こう～単元のまとめ～・・・・（1時間）

(2) 単元指導計画

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	こんにゃくを比べる活動や学級園での栽培体験等を振り返ることを通して、村のこんにゃく作りに興味をもつことができる。	村のこんにゃくと他の産地の製品を比べ、歯ごたえや味等について感想を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・見た目 ・食べ応え（歯ごたえ） ・におい ・味等 （資料4 3種類のこんにゃく） 村のこんにゃく栽培や加工販売について知っていることや、学級園での栽培体験について交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月からの学級園での栽培活動の様子 ・村のこんにゃく畑や加工販売所について （資料5 特産品マップ） 単元を貫く共通課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 串原こんにゃくがおいしくて、村の特産品になっているのはなぜだろう。 </div> 課題に対する予想をノートに書く。	ア 話し合いに意欲的に参加し、こんにゃくの生産や加工販売について関心を示している。	<ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃくの生産・加工販売について知っていることや、今までに自分が体験した栽培活動について進んで発言することができたかを見届ける。 	こんにゃくの違いや村内こんにゃくの味のよさに気づくことができるように、見た目、におい、歯ごたえ、味等から比較するように助言する。 村のこんにゃく栽培・加工販売に対する興味を高めるために、学級園での栽培活動を振り返ったり、東濃特産マップ内にある村内のこんにゃく記号を指し示したりする。 課題に対する予想がもてない場合は、こんにゃく芋の栽培や加工販売に関わる人人を調べてはどうかと助言する。
2 3 4	村内のこんにゃく畑や加工販売所を見学することを通して、畑の分布や栽培の様子、加工所で行われる大まかな作業内容が分かる。	前時の予想を交流する。 こんにゃく作りに関わって、村のどこに・どのような施設があるか知っていることを交流する。 （資料7 K村・蒟蒻畑、蒟蒻加工販売所） 調べる方法について考え、交流する。	ア 調べたい事柄を具体的に決	発言内容や白地図・ノート	見学に対する意欲を高めることができる

		<p>村内のこんにやく畑や加工所をまわって、「どこに・何がある」のかを見つけよう。</p> <p>村内のこんにやく畑や加工所販売を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内のどこに畑はあるか ・どのくらいの広さか ・こんにやくの成長の様子 ・畑の周囲の様子 ・加工販売所の位置、内部で働く人の様子 等 <p>(資料 村内の白地図)</p> <p>村内をまわって分かったことを白地図やノートにまとめる。</p>	<p>め意欲的に調べようとしている。</p> <p>ウ</p> <p>こんにやく畑の分布や加工販売所の位置を白地図に正しく書き込んだり、分かった事実をノートに記入したりしている。</p>	<p>記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どこに・何がある」に関わって、知っていることを発言したり、調べてみたいという内容ははっきりさせているかを見届ける。 ・畑の分布について正しく捉えることができたか、畑や加工販売所の様子から、視点をはっきりさせて分かった事実を記述できたかを白地図やノートから捉える。 	<p>ように、白地図を提示し、どこに、どんなこんにやくの畑や施設・設備がありそうか尋ねる。特に畑では、畑内や周囲の様子を捉えることができるように、こんにやく・土・設備・土地の高低、周りにあるもの等、見学する視点を投げかける。</p> <p>白地図の記入では、畑の位置を正しく捉えることができるように、方位や地名、周りの山や川、主要建物などを手掛かりにして判断するとよいことを押さえる。作業が進まない場合は、見学した場所を正しく捉えている他の児童の作品を紹介したり、指導者から明らかにしたりする。</p>
5	<p>見学したことをもとに、生産・加工・販売の視点から、さらに自分で調べてみたいことやその方法を決めることができる。</p>	<p>見学して分かったことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにやく畑について ・加工所について <p>もっと調べたいことや、それを探り出す方法を考えよう。</p> <p>もっと調べたいことや方法を、生産・加工・販売の三つの視点からそれぞれ考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産 <ul style="list-style-type: none"> ・Nさんの1年間の世話 ・村でこんにやく芋がたくさん栽培されているわけ等 ・加工 <ul style="list-style-type: none"> ・こんにやく作りの手順 ・働いている人について ・施設や設備について等 ・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・どこに出荷されているか ・どんな方法で売っているのか等 <p>(資料 Nさんのこんにやく年表・加工所で働く人の様子の写真・できあがったこんにやく製品)</p> <p>(資料2 “こんにやくいも作りの名人”Nさん年表)</p>	<p>イ</p> <p>共通課題に対する自分の学習問題を決め、見通しある計画を考えている。</p>	<p>発言内容やノート記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産・加工・販売の3つの視点から、自分で調べたいことやその方法を具体的に考えることができたかを発言内容やノート記述から捉える。 	<p>共通課題についてより幅広く調べるために、こんにやく芋栽培について、こんにやく作りについて、こんにやく販売についての三つの視点から考えるとよいことを投げかける。考えづくりに停滞がみられる場合は、仲間の考えを紹介したり、調査内容を例示したりする。こんにやく栽培については、Nさんに意識が向くように、学級園での栽培活動で教えてくださった人を想起するように助言する。</p>

		もっと調べたいことや方法について交流する。			
6 7	自分の学習計画に従ってNさんのこんにゃく芋栽培について調べ、分かったことや疑問に思ったことをノートにまとめたり、発表したりすることができる。	<p>本時の見学の視点や方法を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分が決めた学習計画をもとにして、Nさんのこんにゃく芋栽培について調べよう。</p> </div> <p>畑に行き、Mさんからこんにゃく栽培に関わる話を聞いたり、施設・設備を見学したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年間の世話 ・村でこんにゃく作りがさかななわけ ・こんにゃく芋保存小屋内の様子等 <p>見学して分かったことなどをノートにまとめたり、発表したりする。</p>	ウ Nさんからの取材・調査結果をもとに、「一年間のこんにゃく芋栽培の仕方」等の視点別にノートに整理して分かりやすくまとめたり、発表したりしている。	<p>ノートの記述や発言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート記述ではなく自分の考えを加えていたか、図や表を活用して分かりやすく記述することができたか。 <p>発言内容では、それらを分かりやすく発言できていたかという視点で捉える。</p>	<p>土作りに関しては、全ての児童がNさんの堆肥小屋の様子を観察することができるように配慮する。</p> <p>こんにゃく栽培に適した自然環境の条件に気付くことができるようにそれに関わる内容についても話して頂くよう、事前にNさんに依頼する。</p> <p>こんにゃく芋の保存小屋では、Nさんが行う冬場の温度管理に気付くことができるように、ストーブや温度計に着目するよう助言する。</p> <p>ノートにまとめる段階で停滞がみられる場合は、分かりやすくまとめてある仲間のノートを紹介したり、まとめ方を例示したりして、イメージがもてるようにする。</p>
8 9	自分の学習計画に従ってこんにゃくの加工販売所で働く人々について調べ、分かったことや疑問に思ったことなどをノートにまとめたり、発表したりすることができる。	<p>本時の見学の視点や方法を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分が決めた学習計画をもとにして、加工販売所の人々のこんにゃく作りや販売について調べよう。</p> </div> <p>加工販売所に行き、所員の方からこんにゃく作りに関わる話を聞いたり、施設や設備を見学したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃく作りの作業手順 ・作る機械やいもの冷蔵庫 ・作っているこんにゃくの 			<p>作業手順では、特に茹でたこんにゃく芋を練る段階で、こんにゃく芋の加減を見て加える水の量を調節していることに気付くことができるように、事前に、話の中でそのことについても触れてもらうよ</p>

		<p>種類 ・販売方法や出荷先等</p> <p>見学して分かったことをノートにまとめる。</p>	<p>ウ 加工販売所のMさんからの取材や調査結果をもとに、「こんにやく作りの仕方」等の視点別にノートに整理して分かりやすくまとめたり、発表したりしている。</p>	<p>ノートの記述や発言内容 ・ノートの記述ではなく自分の考えを加えていたか、図や表を活用して分かりやすく記述することができたか。 発言内容では、それらを分かりやすく発言できていたかという視点で捉える。</p>	<p>う加工販売所の方に依頼する。 販売については、発送・配達先を詳しく聞き取るよう助言し、国内の至る所に製品が送られていることに気付くことができるようにする。</p> <p>ノートにまとめる段階で停滞がみられる場合は、分かりやすくまとめてある仲間のノートを紹介したり、まとめ方を例示して、イメージがもてるようにする。</p>
10	<p>見学して分かったことや発見を交流することを通して、Mさんが行う1年間の世話等や加工販売所の人の働きぶり、施設や設備の様子等をまとめることができる。</p>	<p>二回の見学を通して分かったことなどを整理する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>村内のこんにやく生産・加工・販売について、Mさんや加工販売所の人を見学して分かったことをまとめよう。</p> </div> <p>生産・加工・販売の3つの視点から、それぞれ分かったことなどを交流する。 (資料 ぼくの・わたしの発見の写真)</p> <p>仲間の発見や考えをもとに生産・加工・販売の3つの視点からノートなどのまとめを見直す。</p>	<p>エ 村内のこんにやく畑・加工販売のための施設や設備の様子、その働きについて理解している。</p>	<p>発言内容やノート記述 ・生産、加工、販売のそれぞれの視点から、人々の努力や工夫、施設や設備について、事実をもとに正しく捉えることができたかという視点で捉える。</p>	<p>交流が進まない場合は、見学した場所を正しく捉えている他の児童の発言やノートの記述内容を紹介したり、見学した事実を提示したりする。</p> <p>ノートなどにまとめ直す段階では、生産・販売・加工の3つの視点に関わって見直し、記述すように助言する。活動中に停滞が生じたり、内容の不足が見られたりした場合は、交流した内容や他の児童がまとめた内容を例示する。</p>
11	<p>K村とG市のこんにやく</p>	<p>K村とG市のこんにやくの育ちぶりを比べる。</p>			<p>育ちぶりの違いに気付けるように、気付</p>

	<p>くの育ちぶりや気候・地形条件の違いを比較し、その理由を考えることを通して、K村の冷涼な気温や山間部の地形、水はけのよい土がこんにゃく栽培に適していることが分かる。</p>	<p>(資料8 同じ時期に植えたこんにゃく芋の育ちぶりの違い・実物)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>同じ時期に植えたのに、串原村で植えたこんにゃくの方がよく育っているのはなぜだろう。</p> </div> <p>見学体験や資料をもとに育ちぶりが違うわけについて追究し、考えを交流する。</p> <p>(資料 K村とG市の気温) (資料9 地形を強調したジオラマ・写真) (資料 台風が通過中のK村・VTR)</p> <p>土中にしみ込む水の比較実験を通して、土もこんにゃく栽培に適していることに気づくことができる。</p> <p>(資料10 土中にしみ込む水の違い)</p> <p>本時の学習で分かったことをまとめる。</p>	<p>イ 学習課題について調査や資料等をもとに、K村の冷涼な気温や山間部の地形、水はけがよい土について比較しながら考え、K村がこんにゃく栽培に適した自然・地形条件であることについて適切に判断している。</p>	<p>発言内容やノート記述 ・K村の気候、土壌、場所、台風等の自然環境が、こんにゃく栽培に適していることについて、それぞれの根拠をはっきりさせて考え、発言したり記述したりすることができたかという視点で捉える。</p>	<p>かねば葉の広がり具合、茎の高さ・太さに注視するように助言する。</p> <p>気温については、G市とK村の比較と、こんにゃくがよく育つ限界の温度(30)を提示し、こんにゃく栽培に適した気温であることに気付くことができるようにする。山間部の地形については、ジオラマを提示し、風(台風)がこんにゃくに与える影響とつなげて考えるように助言する。しみ込む水の違いに注目できるようにし、K村の土が“水はけのよい土”であることが実感できるようにする。</p>
12	<p>学級園とNさんの畑の土を比べて考えることを通して、Nさんはよいこんにゃく芋を作るために、堆肥作り等の土作りを長年続けていることが分かる。</p>	<p>Nさんの畑の土と学級園を比べる。</p> <p>(資料11 Nさんの畑土と学級園の畑土)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>同じ村内なのに、Nさんの畑の土が、学級園の土と比べて色や手触りが違うのはなぜだろう。</p> </div> <p>自分の予想から、見学や体験、資料をもとに土が違うわけについて追究し、考えを交流する。</p> <p>(資料12 Nさんの堆肥づくり) (資料 Nさんが化学肥料を使わないわけ) (資料13 Nさんと学級園の蒟蒻芋) (資料14 土作りが施されていない土)</p> <p>Nさんの話や土作りが全く施されていない土(サバ土)を通して、Nさんがよりよいこんにゃくいもを作るために長年土作りを続けてきたことに気づくことができる。</p> <p>本時の学習で分かったことをまとめる。</p>	<p>イ 学習課題について調査や資料等をもとに、Nさんの畑の土と学級園の土を比較しながら違うわけについて考え、Nさんが土にける手間の大切さについて適切に判断している。</p>	<p>発言内容やノート記述 ・Nさんの土作りについて、土が違うのは長年の工夫や努力がなされてきたためであることについて、根拠をはっきりさせて考え、発言したり記述したりすることができたかという視点で捉える。</p>	<p>同じ村内の畑の土なのに、手触りや色、におい、含まれている物に違いがあるという事実気付くことができるように、2つの土を細かく観察する時間を保障する。</p> <p>土作りにかかる手間がよりよいこんにゃく芋づくりにつながるという見方を深めるために、「Nさんが土にこのような世話をしないとどうなるか」等について、問いかける。来シーズンに向けて夏のうちに堆肥づくりをしているNさんの姿や、31年間土作りを続けてきたことについて問いかけ、その努力に気付くことができるようにする。</p>

13	<p>販売加工所のMさんらが生いも100%にこだわり、手間をかけて作業している理由等考え通して、お客さんに喜んでもらえるよい特産品を作り出していきたいと願い作業をしていることが分かる。</p>	<p>生芋と粉芋の加工手順や材料費を比べる。 (資料 生芋と粉芋の加工手順・材料費)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>加工所のMさんらが、材料費が高く手間がかかっても生いも100%にこだわってこんにやくを作っているのはなぜだろう。</p> </div> <p>自分の予想から、見学や体験、資料をもとに生いもだけを使うわけについて追究し、考えを交流する。 (資料 お客さんの声) (資料 生産者Mさんと加工販売者Nさんの話) Mさんの話やこんにやくを食べ比べる活動を通して、お客さんに喜ばれるよい製品を作り出していきたいと願っていることに気づくことができる。 (資料 生いもと粉いも使用のこんにやく製品)</p> <p>本時の学習で分かったことをまとめる。</p>	<p>イ 学習課題について、調査や資料等をもとに、Mさんらが生いも100%にこだわっているわけについて考え、消費者に喜ばれる製品作りのためであることについて適切に判断している。</p>	<p>発言内容やノート記述 ・Mさんらが生いもだけを使う理由について、根拠をはっきりさせて考えて発言したり記述したりすることができたかという視点で捉える。</p>	<p>粉芋を使用すれば、材料費が安く、しかも作業が楽になるという事実に気付くことができるように、資料中の材料費や加工手順を比較して考えるように助言する。</p> <p>こんにやくを味わう活動中に歯ごたえや味の違いについて問いかけ、生いも加工品のよさに気付くことができるようにする。生いも加工のよさに対する見方を深めるために、「味には自信がある」というMさんの声、「味のよいものを」という消費者の声についてどう思うか問いかける。</p>
14	<p>今まで学習したことを手紙に書くことを通して、村の自然環境や地域の人々の工夫や努力によって、K村のこんにやくは特産品となっていることや今後の学級園での栽培活動に対する思いをまとめることができる。</p>	<p>今までお世話になった人について振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今まで学習して分かったことをまとめて、お世話になった人にお手紙を書こう。</p> </div> <p>今までの学習で分かったことや、今後の学級園での栽培活動に対する思いを加えて手紙を書く。 (資料 前時まで使用した資料)</p> <p>手紙の内容や今後のこんにやく栽培活動について交流する。</p>	<p>工 村の自然環境や、地域の人々の工夫や努力によって、K村のこんにやくが特産品となっていることを具体的な事実をもとにして理解している。</p>	<p>手紙の内容や発言内容 ・村の自然環境 生産から販売に至るまでの人々の工夫や努力 今後の学級園における栽培活動 この三つに関わって記述や発言をすることができたかという視点で捉える。</p>	<p>生産・加工・販売のそれぞれについて、特に「分かったこと・すごいと思ったこと」は何かを問いかける。手紙を書く活動に対する意欲が高まるように、今までの学習の中で関わって下さった人の行為や好意について紹介する。</p> <p>手紙の中身として、左記～の内容にふれて記述するように助言する。活動中に停滞が生じたり、内容の不足が見られたりした場合は、前時までの学習内容が想起できるように、使用した資料やノートに記述した内容を例示する。</p>

1 単元について

対象学年	小学校 第4学年	小学校 第3学年
学習指導要領	第4学年の内容（5）ア、イ	第3学年の内容（2）ア、イ
単元名	「へぼは、昔から続く村の食文化」 （へぼ：学名 クロスズメバチ） （全13時間）	「こんにゃくは、ぼくらの村の特産品」 （全14時間）
単元目標	<p>地域の人々の生活の変化や地域に残る食文化（へぼを食す）等の文化財・年中行事、それに関わる人々の働きに関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情をもつことができる。 （社会的事象への関心・意欲・態度）</p> <p>地域の人々の生活の変化や文化財・年中行事に関わる人々の諸活動から学習の問題を見だし、見通しをもって追究・解決し、昔の人々の暮らしぶり、知恵や工夫、継承に取り組む人々の工夫や努力、願いについて考え、適切に判断することができる。 （社会的な思考・判断）</p> <p>地域の人々の生活の変化や地域に残る食文化等の文化財・年中行事について、昔の道具や受け継がれている様子を見学したり調査したりして調べると共に、その過程や結果を分かりやすく表現することができる。 （観察・資料活用の技能・表現）</p> <p>地域の生活の変化や過去の生活における人々の知恵や工夫に気付いたり、地域に残る食文化等の文化財・年中行事には、人々の工夫や努力、願いが込められていることを理解したりできる。 （社会的事象についての知識・理解）</p>	<p>こんにゃくの生産・加工販売に関わる人々の工夫や努力に関心をもち、意欲的に調べ、理解したことをもとに、その特色を捉える視点や方法を明らかにすることができる。 （社会的事象への関心・意欲・態度）</p> <p>こんにゃくに関わる人々の諸活動から学習の問題を見だし、見通しをもって追究・解決し、その特色や人々の工夫や努力、国内の他地域との関連について考え、適切に判断することができる。 （社会的な思考・判断）</p> <p>こんにゃくの生産・加工販売の様子を見学したり調査したりして、仕事の特色について具体的に調べると共に、その過程や結果を分かりやすく表現することができる。 （観察・資料活用の技能・表現）</p> <p>こんにゃくの生産や加工販売に関わる人々は、村の自然条件を生かし、生産を高める工夫や努力をしながら栽培をしていることや、他地域に誇ることができるよりよい特産品となるように努力していることを理解できる。 （社会的事象についての知識・理解）</p>
配慮事項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <p>単元指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活と比べやすい昔の道具、食生活とつながる教材を選定した。 ・子どもの思考の流れを大切にした指導計画となるよう次のような場を設定し、単元を構成した。 単元を貫く共通課題を設定する場 個々のテーマに基づいて見学や調査する場 見学や調査で分かったこと疑問に思うことなどを整理したり交流したりする場 指導内容に基づいて事象の意味を深く追究する場 	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <p>単元指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学級園で行っているこんにゃく栽培と重なる教材を選定した。 ・子どもの思考の流れを大切にした指導計画となるよう次のような場を設定し、単元を構成した。 単元を貫く共通課題を設定する場 個々のテーマに基づいて見学や調査する場 見学や調査で分かったこと疑問に思うことなどを整理したり交流したりする場 指導内容に基づいて事象の意味を深く追究する場

<p>自己追究を広げる場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へボ食文化に関わっては、社会的事象を実感を伴って捉えることができるように、へボ追い体験の時間を位置づけた。 <p>単位時間の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へボ飯・へボの巣の実物や昔の道具等を用いて資料化し、子どもが五感を駆使して意味追究できるように配慮すると共に、観察や追究の視点(何を見て、どのように考えるとよいか)を具体的に示した。 ・調査については、事前に何を調べるとよいかを話し合い、子ども自身が見学の視点をもって調べることができるようにした。また、全ての子どもに正しく捉えさせたい事象については、その場で意図的に指導・援助した。 <p>複式学級における個に応じたきめ細かな指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複式学級において、それぞれの学年の指導内容を確実に身に付けることができるように、単位時間内における「わたり・ずらし」の学習形態の確立等を図った。 <p>(6 .参考資料 資料1 参照)</p>	<p>単元全体を振り返る場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにやくに関わる社会的事象を正しく捉えるために、見学や調査の時間を十分に確保した。 <p>単位時間の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の味見、生産者の畑土観察等の体験活動や、こんにやくの生育状況を示す実物を用いて資料化し、子どもが五感を駆使して意味追究できるように配慮した。また、観察や追究の視点(何を見て、どのように考えるとよいか)を具体的に示した。 ・調査については、事前に何を調べるとよいかを話し合い、子ども自身が見学の視点をもって調べることができるようにした。また、全ての子どもに正しく捉えさせたい事象については、その場で意図的に指導・援助した。 <p>複式学級における個に応じたきめ細かな指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複式学級において、それぞれの学年の指導内容を確実に身に付けることができるように、単位時間内における「わたり・ずらし」の学習形態の確立等を図った。 <p>(6 .参考資料 資料1 参照)</p>
<p>参考資料</p> <p>資料1：“複式授業の成立”に向けた取り組みについて</p> <p>資料3：“へボの神様”といわれるMさん年表 (第6～7時)</p> <p>資料15：へボ飯 (第1時)</p> <p>資料16：「想山著聞奇集」 (第1時)</p> <p>資料17：へボ追い (第4～5時)</p> <p>資料18：Mさんの生掘りの様子 (第10時)</p> <p>資料19：Mさんの生掘りの手順 (第10時)</p> <p>資料20：Mさんの保存～放ち (第11時)</p> <p>資料21：会員の協力のもと、女王蜂を解き放つ場所 (第11時)</p> <p>資料22：Mさんの失敗 (第11時)</p> <p>資料23：女王バチ一匹だけでつくる巣 (第11時)</p> <p>：記載していない資料</p>	<p>資料1：“複式授業の成立”に向けた取り組みについて</p> <p>資料2：“こんにやくいも作りの名人”Nさん年表 (第5時)</p> <p>資料4：3種類の蒟蒻 (第1時)</p> <p>資料5：特産品マップ (第1時)</p> <p>資料6：K村・こんにやく畑 (第2～4時)</p> <p>資料7：K村・こんにやく加工販売所 (第2～4時)</p> <p>資料8：同じ時期に植えたこんにやく芋の育ちぶりの違い (第11時)</p> <p>資料9：地形を強調したジオラマ (第11時)</p> <p>資料10：土中にしみ込む水の違い (第11時)</p> <p>資料11：Nさんの畑土と学級園の畑 (第12時)</p> <p>資料12：Nさんの堆肥づくり (第12時)</p> <p>資料13：Nさんと学級園の蒟蒻芋 (第12時)</p> <p>資料14：土作りが施されていない土 (第12時)</p> <p>：記載していない資料</p>

両 単 元 の 指 導 の 流 れ	時	4年生「へボは、昔から続く村の食文化」(全13時間)	学級担任による指導	3年生「こんにゃくは、ぼくらの村の特産品」(全14時間)	時
	1	・へボ飯を食べてみよう		・こんにゃくを比べてみよう	1
		算数・書写・音楽 (担任以外の職員による指導)		・村のこんにゃく畑や加工所はどこにあるの? (見学・調査)	2 3 4
	2 3	・村の郷土館見学 (見学・調査)		書写・音楽 (担任以外の職員による指導)	
	4 5	・昔から今の人々の生活変化をまとめよう		・じっくり調べたいテーマをきめよう	5
		算数・音楽 (担任以外の職員による指導)		算数(担任以外の職員による指導)	
	6 7	・Mさんのへボ小屋見学 (見学・調査)		・Nさんのこんにゃく畑・芋保存小屋見学 (見学・調査)	6 7
		算数・書写・音楽 (担任以外の職員による指導)		・こんにゃく芋の加工販売所見学 (見学・調査)	8 9
	8 9	・「Mさんと共にへボ追い」体験 (見学・調査)		・見学して分かったことをまとめよう	10
	10	・Mさんのへボの巣掘り		書写・音楽 (担任以外の職員による指導)	
	11	・女王バチを育て山にかえすMさん	本時	・この村でこんにゃく芋がすくすく育つわけ	11
	12 13	・受け継ぐぞ、村の文化財・年中行事～単元のまとめ～		・Nさんの土づくり	12
				・こんにゃくいも100%の特産品を ・お世話になった人から学んだことをお手紙に書こう～単元のまとめ～	13 14
	<p>見学・調査については、3・4年の両学年に必ず指導する教師がついて学習を進められるように、上記のように指導計画を工夫した。</p>				

2 単元の評価規準（第4学年「へボは、昔から続く村の食文化」）

	ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 観察・資料活用の技 能・表現	エ 社会的事象について の知識・理解
内容 のご まとの ま評価 規準	地域の人々の生活の 変化や地域の発展に 尽くした先人の働き に関心をもち、それ を意欲的に調べるこ とを通して、地域社 会に対する誇りと愛 情をもとうとする。	地域の人々の生活の 変化や地域の発展に 尽くした先人の働き から学習の問題を見 いだして追究・解決 し地域の人々の生活 と願いを実現してい く地域の人々の工夫 や努力との関連を考 え、適切に判断する。	地域の古い道具、文 化財や年中行事、地 域の発展に尽くした 先人の具体的事例を 的確に見学や調査し たり、年表にまとめ たりして調べるとも に、調べた過程や結 果を工夫して表現す る。	地域の人々の生活の 変化や人々の願い、 地域の人の生活の向 上に尽くした先人の 働きや苦心を理解し ている。
単 元 の 評 価 規 準	地域の人々の生活の 変化や地域に残る食 文化（へボを食す） 等の文化財・年中 行事、それに関わる 人々の働きに関心 をもち、それを意欲 的に調べることを通 して、地域社会に対 する誇りと愛情をも とうしている。	地域の人々の生活の 変化や文化財・年中 行事に関わる人々の 諸活動から学習の 問題を見だし、見 通しをもって追究・ 解決し、昔の人々の 暮らしぶりや知恵や 工夫、継承に取 り組む人々の努力・ 工夫、願いについて 考え、適切に判断し ている。	地域の人々の生活の 変化や地域に残る食 文化等の文化財・年 中行事について、見 学や調査をして調べ るとともに、その過 程や結果を分かりや すく表現している。	地域の生活の変化や 過去の生活における 人々の知恵や工夫に 気付き、地域に残る 食文化等の文化財・ 年中行事には、人々 の工夫や努力、願い が込められているこ とを理解している。
学 習 活 動 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	話し合いに意欲的 に参加し、昔の 人々の暮らしぶり やへボ、見学計 画作り等について 関心を示している。	昔の道具や郷土館 の館員さんの話を もとにして、当時 の人々の暮らし ぶりについて考え 、昔の人々の知 恵や工夫について 適切に判断してい る。 学習課題について、 調査や資料等を もとに、Mさん がていねいに 巣を掘り出す わけについて 考え、これか らのへボ飼 い等に対する Mさんの願 いについて 適切に判断 している。 学習課題について、 調査や資料 等をもとに、 Mさんが会 員にへボを 分配保存し たり、村全 体に放って いたりする わけにつ いて考え、 女王バチ や村民に 対するM さんの願 いにつ いて適切 に判断し ている。	自分が調べて みたいテーマ にそって、M さんやへボ 小屋等を見 学や調査し、 分かった事 実や自分の 考えを「へ ボ飼いの仕 方」等の視 点別にノート に整理して 分かりやす くまとめたり 、発表したり している。 へボ追い体 験を通して 分かったM さんの工夫 や努力等を 踏まえて、「 へボ追いの 仕方」等の 視点別にノ ートに整理 して分かり やすくまと めたり、発 表したりし ている。	地域に暮らす 人々の生活 の変化や過 去の生活に おける人々 の知恵や工 夫について 理解してい る。 村に残る他 の文化財や 年中行事に は、へボに ついての学 習結果と同 様に人々の 願いが込め られている ことを理解 している。

3 指導と評価の計画（第4学年「へボは、昔から続く村の食文化」：全13時間）

(1) 授業の流れ

- 第1次・へボ飯を食べてみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1時間)
- 第2次・村の郷土館見学・・・・・・・・・・・・・・・・・・(2時間)
 ・昔から今の人々の生活変化をまとめよう・・・・・・・・・・(2時間)
- 第3次・Mさんのへボ小屋見学・・・・・・・・・・・・・・・・・・(2時間)
 ・「Mさんと共にへぼ追い」体験・・・・・・・・・・・・・・・・(2時間)
 ・Mさんのへボの巣堀り・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1時間)
 ・女王バチを育て山にかえすMさん・・・・・・・・・・(1時間)
- 第4次・受け継ぐぞ、村の文化財・年中行事・・・・・・・・・・(2時間)

(2) 単元指導計画

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	<p>へボ飯の試食や昔の人人の暮らしぶりを見たり、昔の生活や村で続けられているへボ取り等について調べようとする意欲を高め、具体的な計画を立てることができる。</p>	<p>へボ飯を試食する。 (資料15 へボ飯) 村人の昔の暮らしや今も続けられているへぼ追い、年中行事等について、知っていることを交流する。 (資料16「想山著聞奇集」の一部) (資料 昔の人々の暮らしぶりが分かる写真)</p> <p>単元を貫く共通課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>昔から「へぼ追い」などの行事が、村の人々の中で続けられてきたのはなぜだろう。</p> </div> <p>課題に対する予想を交流する。 共通課題について調べたいテーマを決め、ノートに書いて交流する。 ・昔の人の暮らしぶりについて ・続けられている“へぼ追い・飼い”について</p>	<p>ア 話し合いに意欲的に参加し、昔の人々の暮らしぶりやへボ、見学計画作り等について関心を示している。</p>	<p>へボ飯の試食、昔の写真に対する発言内容、ノートへの記述 ・へボや年中行事、昔の人々の暮らしぶりについて、自分の知っていることを進んで発言することができたかを見届ける。 ・昔の人々の暮らしぶり・へボ食文化を視点にして、自分で調べたいことやその方法を具体的に考えることができたかを発言内容やノート記述から捉える。</p>	<p>へボ飯を食べることに抵抗を示す子に対しては、無理に勧誘せず、知っていることについて発言できるように助言する。 現在だけでなく、昔の人々の生活ぶりを知る必要があることを「想山著聞奇集」の文から押さえ、昔の人の暮らしぶり、へボの食文化の二つの視点で計画を立てるように助言する。 昔の人々の暮らしぶりについては、身近なお年寄りや郷土館の道具、館員の話を通して調べるとよいことを紹介する。</p>
2 3	<p>村の郷土館内の道具を見学したり、館員さんから話を聞いたりすることを通して、当時の人々の暮らしぶりや知恵・工夫に気付く。</p>	<p>調べたいテーマを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>道具や館員さんの話から昔の人々の暮らしぶりや知恵・工夫をさぐりだそう。</p> </div> <p>郷土館内の道具等を見学する。 ・衣食住について ・農作業について ・山仕事について 等</p> <p>見学・調査して分かった</p>	<p>イ 昔の道具や郷土館の館員さんの話をもとにして、当時の人々の暮らしぶりについて考え、昔の人々の知恵や工夫について適切に判断し</p>	<p>見学・調査している様子やノート等の記述 ・自分のテーマにそって、意欲的に道具調べをしたり、館員に聞き取りをしたりしているかを見</p>	<p>道具を通して人々の暮らしぶりや知恵・工夫に気付くことができるように、 材質 形状 使用目的 利点 当時の暮らし 現在では</p>

		<p>ことや疑問に思うことをカードやノートにまとめる。</p>	<p>ている。</p>	<p>届ける。 ・ノート等に当時の人々の暮らしぶりや知恵・工夫に関わる内容を記述することができたか確かめる。</p>	<p>等の視点をもって調べるように助言する。</p>
4 5	<p>郷土館の見学・調査結果をまとめる活動を通して、生活の変化や当時の人々の知恵・工夫が分かり、へぼについて調べる意欲を高めることができる。</p>	<p>見学して分かったことを交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>調査結果から、昔から今にいたるまでの人々の生活の変化や知恵・工夫をまとめよう。</p> </div> <p>調査結果をもとに「生活移り変わり年表」や「人々の知恵・工夫カード」にまとめる。</p> <p>仕上げた年表・カードについて交流する。</p> <p>昔から続けられているへぼ追いなどの行事について、知っていることや疑問に思うことを交流し、見学に対する意欲を高める。 (資料17 へぼ追い・飼い等に関わる写真・道具)</p>	<p>工 地域に暮らす人々の生活の変化や過去の生活における人々の知恵や工夫について理解している。</p>	<p>発言内容やノート記述 ・年表やカード内では、人々の生活の移り変わり知恵・工夫自分の考えや意見 以上の三つの視点で分かりやすくまとめることができたか捉える。</p>	<p>停滞がみられる場合は、他の児童の作品を紹介したり、～の視点別にまとめることを例示したりする。 左記の三つの視点にそって子どもに発問し、まとめて板書するように配慮する。</p> <p>へぼ食文化についての調査意欲が高まるように、それに関わる写真や道具を提示し、 ・へぼについて ・飼い箱や道具の変化 ・村のへぼ愛好会について 等の視点をもって調べるように助言する。</p>
6 7	<p>Mさんの話を聞いたり、へぼ小屋の様子等を見学や調査したりすることを通して、分かったことをノートにまとめたり、発表したりすることができる。</p>	<p>本時の見学の視点や方法を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分が決めた計画をもとにして、Mさんからへぼについて学ぼう。</p> </div> <p>Mさんからへぼについての今昔に関わる話を聞いたり、へぼを育てるための小屋や道具などを見学したりする。 ・Mさんの今までの暮らし ・へぼに関わる一年 ・へぼ追い・飼い・保存の仕方等</p>			<p>Mさんには、子どもの調べたいテーマや昔から今のへぼ追い・飼育・保存について話して頂けるよう事前に依頼しておく。</p> <p>飼育や保存に関わるMさんの工夫や努力に気付くことができるように、飼育箱やへぼ小屋の中の道具などを調べたり、Mさんに尋ねたりするように助言する。</p>

		<p>見学や調査して分かったことや疑問に思ったことなどを交流し、ノートにまとめる。</p> <p>(資料3 Mさん年表)</p> <p>交流の段階でみられたヘボ追いについて、分かったことや疑問に思ったことについて交流し、見学の視点や約束(安全に関わって)を決める。</p>	<p>ウ 自分が調べてみたいテーマにそってMさんやヘボ小屋等を見学や調査し、分かった事実や自分の考えを「ヘボ飼いの仕方」等の視点別にノートに整理して分かりやすくまとめたり、発表したりしている。</p>	<p>ノートの記述や発言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートでは、事実だけでなく自分の考えや疑問などを加えていたか、図や表を活用して分かりやすく記述することができたか。発言内容では、それらを分かりやすく発言できていたかという視点で捉える。 	<p>ノートなどにまとめる段階で停滞がみられる場合は、分かりやすくまとめている他の児童のノートを紹介したり、まとめ方を例示したりする。</p>
8 9	<p>Mさんと共にヘボ追体験を通して、Mさんの工夫や努力について分かったことや疑問に思うことをノートにまとめたり、発表したりすることができる。</p>	<p>ヘボ追体験について見学の視点や約束を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Mさんと共にヘボ追いをして、ヘボの巣を見つけよう。</p> </div> <p>Mさんと共にヘボ追体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所選び ・エサおき ・目印もたせ ・ヘボ追い等 <p>ヘボ追体験を通して分かったことをノートにまとめ、交流する。</p> <p>本時発見したヘボの巣をMさんはどのように扱うかについての予想を交流する。</p>	<p>ウ ヘボ追体験を通して分かったMさんの工夫や努力等を踏まえて、「ヘボ追いの仕方」等の視点別にノートに整理して分かりやすくまとめたり、発表したりしている。</p>	<p>体験における発言・ノート記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言やノート記述にMさんの努力・工夫に関わる内容が見られるかで捉える。 <p>ノートの記述や発言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートでは、事実だけでなく自分の考えや疑問などを加えていたか、図や表を活用して分かりやすく記述することができたか。発言内容では、それらを分かりやすく発言できていたかという視点で捉える。 	<p>Mさんの行為には、それぞれに根拠があることに気付くことができるように、「なぜそうするのか」を尋ねるように助言する。</p> <p>まとめる段階で停滞がみられる場合は、分かりやすくまとめている他の児童のノートを紹介したり、まとめ方を例示したりする。</p>
10	<p>Mさんの長年の経験に基づく生堀</p>	<p>Mさんの生堀りの様子を見る。</p> <p>(資料18 Mさんの生堀りの様</p>			<p>Mさんの顔や手先に着目してVTRを見るように投げかけ</p>

	<p>りの工夫について考えることを通して、今後のヘボ飼いのために、ヘボを弱らせたり巣を傷つけない、山を保存していきたいというMさんの願いが分かる。</p>	<p>子・VTR) (資料19 Mさんの生掘りの手順)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>けむり一吹きだけ・3時間以上かけて、Mさんがていねいに巣を掘り出しているのはなぜだろう。</p> </div> <p>見学体験や資料をもとに、Mさんがていねいに生掘りしているわけについて追究し、考えを交流する。 (資料 Mさんの“いぶし”の移り変わり) (資料 Mさんの話) (資料 煙幕) Mさんの話と掘った土を元に戻している写真から、山を保存していきたいというMさんの願いに気付く。 (資料 土を元に戻す Mさん・写真・VTR)</p> <p>本時の学習で分かったことをまとめる。</p>	<p>イ 学習課題について、調査や資料等をもとに、Mさんがていねいに巣を掘り出しているわけについて考え、今後のヘボ飼い等に対するMさんの願いについて適切に判断している。</p>	<p>発言内容やノート記述 ・Mさんの願い(ヘボを弱らせない・巣を傷つけない・山を保存したい)について、それぞれの根拠をはっきりさせて考えたり発言したり記述したりすることができたかという視点で捉える。</p>	<p>る。 かかった時間や煙幕を使う方法もあるという事実を提示し、課題化を図る。</p> <p>ヘボや巣を大切に扱うMさんに対する見方や考え方を深めるために、「煙幕を使えば手間をかけなくとも掘り出せるのに」などを問いかける。 Mさんの土を丁寧に戻す行為かと思いついて問いかける。山を保全していきたいという願いに気付くことができるようにする。</p>
11	<p>Mさんが女王バチを保存分配し、村内の各地域に分けて放っている事実について、その理由を考慮することを通して、Mさんは一匹でも多くの女王バチを育てあげ、村のヘボが絶えないようにしていることが分かる。</p>	<p>Mさんの女王バチ保存の様子や村内の置き放ち場所を見る。 (資料20 Mさんの女王バチ保存～放ち・写真・VTR) (資料21 会員の協力のもと、女王バチを置き放ち場所)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Mさんが女王バチを会員に配って冬越しさせたり、村全体に放ったりしているのはなぜだろう。</p> </div> <p>見学体験や資料をもとに女王バチの分配保存、村全体の放ちを行うわけについて追究し、考えを交流する。 (資料22 Mさんの失敗)</p> <p>Mさんの話や置き放ち様子のVTRを通して、Mさんの願いに気付くことができる。 (資料 女王バチを放つ Mさん・VTR)</p>	<p>イ 学習課題について、調査や資料等をもとに、Mさんが女王バチを分配保存したり、村全体に放っていたりするわけについて考え、女王バチや村民に対するMさんの願いについて適切に判断している。</p>	<p>発言内容やノート記述 ・Mさんの願い(万が一に備える・村民やヘボのために)について、それぞれの根拠をはっきりさせて考えたり、記述したりすることができたかという視点で捉える。</p>	<p>Mさんの表情や使っている道具に着目してVTRを見るように働きかける。 Mさんだけで保存したり、家の近くだけで放ちをしたりしていないという事実を押さえ、課題化を図る。</p> <p>会員に女王バチを分配することが、万が一に備えた行為でもあることに気づけるように、資料や年表中の失敗事例と関わらせて考えるよう助言する。 Mさんの村全体に対する願いに気付くことができるように、「Mさんだけで全部の女王バチを保存したり、近くに放ったりしないのは」などと問いかける。 Mさんの願いにより深く迫るために、放ち際にMさんが女王バチにかけた</p>

		<p>(資料23 女王蜂一匹だけでつくる巣)</p> <p>本時の学習で分かったことをまとめる。</p>			<p>「おーい、がんばって...」の言葉についてどう思うか問う。女王バチ一匹だけで作った巣と M さんの思いについて問いかけ、M さんの村のへボを絶えさせたくないという願いについて、より深く共感できるようにする。</p>
12 13	<p>村に残る文化財・年中行事について調べ、考えることを通して、それぞれに人人の願いが込められていることが分かり、今後の継承に対する意欲を高めることができる。</p>	<p>前時までの学習内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の移りかわり ・へボに対する M さんの願い等 <p>今も残る文化財や年中行事について、知っていることを交流する。 (資料 村の文化財・年中行事一覧)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>村に残る文化財や年中行事を調べて、これからの自分について考えよう。</p> </div> <p>他の文化財や年中行事について調べ、分かったことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村誌から ・パンフレットから ・インターネットから ・近所のお年寄りから 等 <p>これからも自分が残していきたい文化財や年中行事についてカード等にまとめ、交流する。</p>	<p>工 村に残る他の文化財や年中行事には、へボについての学習結果と同様に人々の願いが込められていることを理解している。</p>	<p>発言内容やカード記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の文化財や年中行事の調査結果をもとに、人々の願いに気付くことができたか、それらを受け継いでいきたいという言動や記述が見られたかで捉える。 	<p>子どもにへボに関わる行事を通して分かった人々の願いについて尋ね、「昔・生きるため、今・楽しむのため」とまとめる。 より調査意欲が高まるように「今も残る村の文化財・年中行事一覧」を提示する。</p> <p>作業が停滞する場合は、他の児童の調査方法を紹介したり、調査対象、方法等を例示したりする。</p> <p>残したいと決めだした文化財・年中行事については、その根拠をはっきりするよう助言し、継承に対する意欲が高まるよう賞賛する。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時の位置		1 2 / 1 4		(1) 本時の位置		1 1 / 1 3			
(2) 本時のねらい ・学級園と N さんの畑土を比べて考えることを通して、N さんはよいこんにゃく芋を育てるために、堆肥作り等の土作りを長年続けていることが分かる。				(2) 本時の目標 ・M さんが女王パチを保存分配し、村内の各地域に分けて放っている事実について、その理由を考えることを通して、M さんは一匹でも多くの女王パチを育てあげ、村のへボが絶えないようにしていることが分かる。					
(3) 展開案				(3) 展開案					
3 年生「こんにゃくは、ぼくらの村の特産品」				4 年生「へボは、昔から続く村の食文化」					
子どもの主な学習活動		教師の指導・援助 評価		過程		教師の指導・援助 評価		子どもの主な学習活動	
<p>1. 学級園と N さんの畑土の違いから、課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N さんの畑土の方がやわらかい。 ・ 黒っぽい色をしている。 ・ 色々な物が入っている。 ・ 同じ村内の土なのに... <p>(資料 1 1 N さんの畑土と学級園の畑土)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>同じ村内の土なのに、N さんの畑土が学級園の土と比べて色や手触りが違うのはなぜだろう。</p> </div> <p>2. 自分の予想から、見学や体験、資料をもとに土が違ふわけを追究する。(自己追究)</p> <p>ア・とまどう イ・肥料について考える ウ・堆肥作りについて考える エ・選定した肥料の理由と堆肥作りの努力について考える (資料 1 2 N さんの堆肥づくり) (資料 N さんが化学肥料を使用しないわけ)</p> <p>3. 自己の追究を交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N さんは苦労して堆肥を作り、それを土の中に入れていく。 ・ 化学肥料を使うと、こんにゃくいもが育てにくい土になっていく。 ・ 毎年苦労して堆肥作りをして、深く掘って土の中に入れていくから土が違ふんだ。 <p>4. こんにゃくの成長の違いと土作りが全く行われていない土と比べて考える。(自己追究)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくらの育てたこんにゃく芋より大きい。 ・ N さんは 3 1 年間も土作りを続けてきたんだ。 <p>(資料 1 3 N さんと学級園の蒟蒻芋・実物) (資料 N さんの話)</p> <p>5. 考えたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芋の成長が違うはずだ。 ・ N さんが土作りを毎年続けてきたから芋がよく育っている。 <p>6. 今日の学習をまとめ・振り返る</p> <p>N さんは昔からずっと苦労して堆肥作りをしたり深く掘ったりして、土作りを続けてきたから、こんなに土が違ってこんにゃく芋がでっかく育っているんだね。ここまでよい土にしてきた N さんはすごいね。</p> <p>(資料 1 4 土作りが施されていない土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時わかったことを振り返る (ノート記述・自己評価) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ村内の畑土なのに、手触りや色、におい、含まれている物に違いがあるという事実気付くことができるように、2 つの土を細かく観察する時間を保障する。 ・ アの子には、土に入れている肥料や堆肥作りの姿から考えるように助言する。イの子には、そのわけと成長とのつながりを考えるように助言する。ウの子には、N さんの汗やかかる労力とつなげて考えるように助言する。エの子には、毎年行う必要性とつなげて考えるように助言する。 イ 学習課題について調査や資料等をもとに、N さんの畑土と学級園の土を比較しながら違ふわけについて考え、N さんが土にかかる手間の大切さについて適切に判断している。発言内容やノート記述 ・ N さんの土作りについて、土が違ふのは長年の工夫や努力がなされていたためであることについて、根拠をはっきりさせて考え、発言したり記述したりすることができたかという視点で捉える。 ・ 土作りにかかる手間がよりよいこんにゃく芋づくりにつながるという見方を深めるために、「N さんが土の世話をしないとどうなるか」等について、問いかける。 ・ 自分たちと N さんの土作りの違いが、こんにゃく芋の成長の違いにつながっていることを押さえる。 ・ 来シーズンに向けて夏のうちに堆肥づくりしている N さんの姿や、3 1 年間土作りを続けてきたことについて問いかけ、その努力に気付くことができるようにする。 ・ 手間が全くかけられていない山土を提示し、N さんの努力や土に対する思いに浸ることができるようにする。 		<p>担任</p> <p>担任</p> <p>担任</p> <p>担任</p> <p>担任</p> <p>担任</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ M さんの表情や使っている道具に着目して VTR を見るように働きかける。 ・ 会員に分配して保存したり、三宅さんの家の近くだけに放っていたりしていないという事実を提示する。 アの子には、放つ場所を一カ所にしていないことや会員に配っている事実から考えるように促す。イの子に対しては、保管の難しさをつなげて考えるように助言する。ウの子に対しては、会員の居住区とつなげて考えるよう助言する。エの子に対しては、来年のへボシーズンとつなげて考えるように助言する。 ・ 会員に女王パチを分配することが、万ーに備えた行為であること気付けるように、資料や年表中の失敗事例と関わらせて考えるように助言する。 イ 学習課題について、調査や資料等をもとに、M さんが女王パチを分配保存したり、村全体に放っていたりするわけについて考え、女王パチや村民に対する M さんの願いについて適切に判断している。発言内容やノート記述 ・ M さんの願い(万ーに備える・村民やへボのために)について、それぞれ根拠をはっきりさせて発言できたり、記述したりすることができたかという視点で捉える。 ・ M さんの村全体に対する願いに気付くことができるように、「M さんだけで全部の女王パチを保存したり、近くに放つたりしないのは」などと問いかける ・ M さんの願いにより深く迫るために、放つ際、M さんが女王パチにかけた「おーい、がんばって...」の言葉についてどう思うか問う。 		<p>1. M さんが女王パチに関わっている VTR から、分かったことをプリントにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一匹、一匹、筒から女王パチを取り出ししている。 ・ 箱に入れて倉にしまっている。 ・ 春までに女王パチをとっておくんだ。 <p>(資料 2 0 M さんの保存～放ち・VTR・写真)</p> <p>2. 会員に分配して保存してもらっていることや村内全域に渡って放っているという事実から、課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の会員にも配って保存してもらっている。 ・ 村の全体で女王パチを放している。 ・ M さんが育てた女王パチなのに。 <p>(資料 2 1 会員の協力のもと、女王パチを解き放つ場所・図)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>M さんが育てた女王パチを会員に配って冬越しをさせたり、村全体に放つたりしているのはなぜだろう。</p> </div> <p>3. 見学体験や資料をもとに女王パチの分配保存、村全体の放ちを行うわけについて追究する。(自己追究)</p> <p>ア・とまどう イ・会員の人について考える ウ・女王パチの放ち場所について考える エ・会員のことと放ち場所の関連について考える (資料 2 2 M さんの失敗)</p> <p>4. 自己の追究を交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一カ所だけで保存すると、そこで何かあったら女王パチが全部死んでしまう。 ・ 少しでもたくさんの女王パチを残すように保存場所を分けているんだ。 ・ M さんは自分のことだけではなくて、会員のことも考えている。 ・ 村のどこでもへボがいるように。 <p>5. へボを放つ際の M さんの言動や思いから、M さんの願いを考える。(自己追究)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女王パチをととても大切に扱っている。 ・ へボを“孫”と思っている。 ・ いつまでも村のへボがいてほしいと思っているんだ。 <p>(資料 女王パチを放つ VTR・M さんの話「もしへボがいなくなったら...」)</p> <p>6. 今日の学習をまとめる</p> <p>M さんは万ーに備えて保存場所を分けたり、会員のことを考えたりしている。ずっと村にへボがいるように願って女王パチを育て続けているんだ。</p> <p>(資料 2 3 女王パチ一匹だけでつくる巣)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時分かったことを振り返る (ノート記述・自己評価) 	

5 評価の実際と個に応じた指導事例

本時（3年・第12時及び4年・第11時）の評価と、個に応じた指導の事例を以下のようにまとめた。「学習活動における具体的評価規準」に照らして、「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例、及び「努力を要する」状況（C）と判断した児童がいる場合の指導の具体的な手だてを示している。

授業展開の中で、「学習活動における具体的評価規準」に照らして、個の学習状況を把握することに努める。その際、「努力を要する」状況と判断した児童に対して、学習状況に応じた指導の手だてを講じて、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。それとあわせて、「十分満足できる」状況と判断できる児童の姿が実現されることをめざして、指導・援助に努めていく。

【3年・社会的な思考・判断】

学習指導における具体的評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手だて
<p>イの学習課題について見学や資料等をもとに N さんの畑の土と学級園の土を比較しながら違うわけについて考え、N さんが土にかける手間の大切さについて適切に判断している。</p>	<p>N さんの土作りについて追究し、土が違うのは長年の堆肥作りや掘り返し等の工夫や努力を続けてきたためであることを捉え、根拠をはっきりさせて発言したり、記述したりすることができている。さらに、そんな N さんの生き方に“すごさ”を感じ、学んだことを自分たちの蒔蒔芋栽培に生かそうと考えている。</p>	<p>色・におい・手触り・中身の4つの視点を投げかけ、土の違いに気付くようにする。</p> <p>土作りに十分な手間をかけることが、よりよいこんにやく芋づくりにつながるという考え方を深めるために、「N さんが土にこのような世話をしないとどうなるか」などの問いかけをする。</p>

【4年・社会的な思考・判断】

学習指導における具体的評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現していると判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手だて
<p>イの学習課題について見学や資料等をもとに、M さんが女王バチを分配保存したり、村全体に放っていたりするわけについて考え、女王バチや村民に対する M さんの願いについて適切に判断している。</p>	<p>M さんが行っている女王バチの保存分配や、村全体に放つ理由について追究し、M さんは万一に備えた保存の工夫をしていることや、他の村民やへボのことを考えているからであることを捉え、根拠をはっきりさせて発言したり、記述したりすることができている。さらに、そんな M さんの生き方に“すごさ”を感じ、自分にできることを考えている。</p>	<p>保存分配することが、万一に備えた行為であることに気付くことができるよう、M さんが一人で保存していた頃の失敗事例と、分けて保存していることをつなげて考えるように助言する。</p> <p>村民に対する M さんの思いに気付けるよう、「自分の家の周りにだけ女王バチを放てば、来年も M さんはたくさんへボが捕れるのに…」などの問いかけをする。</p>

6. 参考資料

資料1 “複式授業の成立”に向けた取り組みについて

本年度、私が子どもたちと実践してきたのは、従来から複式学級で行われている「2学年が異なる内容を学ぶ学習形態」である。

4月当初、3・4年生の社会科複式学習を進めるにあたり、以下の3点に配慮した。

(1) 子どもの発達段階と指導内容の順序性

3年生は、1・2年生活科との関連や、子どもたちが体得してきた知識・理解等が、家庭や学校周辺の社会的事象に限られているという実態を考慮した。

そのため、3年生の社会科は、学習指導要領内容(1)に基づき、まず身の回りの地域の様々な社会的事象を見つめ、地域の様子は場所によって違いがあることから学んでいくことが、好ましいと考えた。

また本校は、在籍児童数の関係から、複式となる学年が毎年変動している。今年担任した3年生は、来年度単式学級となり、4年生は、5・6年の複式学級となる予定である。

したがって、3・4年生の学習内容をひとまとまりとして二つに分けたA年度・B年度方式は選択せず、それぞれの学年にあった内容をそれぞれの学年に指導する必要があると判断した。

(2) 単元計画、単位時間等の工夫

複式学級であっても、それぞれの単元において見学や調査を行う時間は別に設定し、単位時間内の“ずらし”(展開の流れ・下記～)や“わたり”(両学年に対する教師の指導・援助、評価)を工夫することにより、教師一人の場合でも指導することができる考えた。但し、指導する内容によっては、他の職員とともに、ITによる指導を行った。

複式学級における「わたり・ずらし」を取り入れた一斉指導の流れ(例)

3年生	教師の指導	4年生
本時の学習対象の確認・課題化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">学習課題</div>		前時までの復習及び本時に関わる学習対象の確認等(自己追究)
今までの学習や資料をもとに課題を追究する (自己追究・根拠を明確にする場)		本時の学習対象について課題化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">学習課題</div>
追究で培った対象についての見方・考え方を交流する		今までの学習や資料をもとに課題を追究する。 (自己追究・根拠を明確にする場)
交流後、さらに深く追究する (自己追究・考えを深める場)		追究で培った対象についての見方・考え方を交流する
本時の学習をまとめる。		交流後、さらに深く追究する。 (自己追究・考えを深める場)
自己評価、次時の学習計画等		本時の学習まとめる・自己評価

(3) 子どもの自己追究が成立する学習指導の工夫

複式学級における指導では、どうしても教師がいない時間帯ができる。従って「自学自習できる子」を育てる指導の継続が大切になる。

以下に、指導上特に配慮した点を示す。

学習の流れの明示

年度当初に、45分間の一斉指導の場合でも、教師は必ず3回以上それぞれの学年に「わたる」ことや全体の学習の流れ（前頁参照）を子どもたちに明示した。その流れを繰り返すことで、子どもたちが落ち着いて学習できるようにした。

学習ルールの取り決め

子どもたちと話し合い、教師が他学年の指導をしている場合の学習ルールとして、以下を取り決めた。

- (例)・学習課題について、今までの学習や資料をもとにして、まず自分で考えてみる。
- ・困ったら仲間に相談してもよい。
- ・それでも分からなかったら、他学年の指導にあたっている教師に相談してもよい。

子どもの課題追究意欲が持続する資料や発問の提示

教師は、他の学年に“わたる”前に、見る・考える視点をはっきりさせた資料や発問の提示をするように心がけた。

- ・VTRでは、「見る視点」をはっきり伝える。
- (例)「生掘りをするMさんの顔や手先をよく見て、分かったことをプリントにかきましょう。」
- ・資料や発問では、「考える視点」をはっきり伝える。
- (例)「これはNさんが育てたこんにやく芋とぼくたちが育てた学級園のこんにやく芋です。比べてどんなことが分かるかな。今まで考えてきたNさんの土作りの大変さとつなげて考えよう。」

学習プリントの工夫

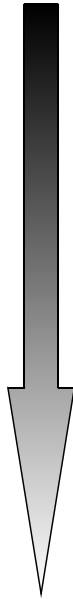
追究するスペース・振り返るスペースをプリントに設定。子どもたちは担任が戻って来るまでに自己追究した考えをそこに記しておくことができるようにした。



複式一斉指導
手前・自己追究(3年) 後ろ・教師の指導・援助、評価(4年)

資料 2 “ こんにゃくいも作りの名人 ” Nさん 年表 (6 5 歳)

3 年生の子どもたちに紹介し “ 教室掲示 ” として使用

さい	“ K 村のこんにゃくいも ” にかかわるおもなできごと	
0	・ K 村 K 地区に生まれる。	K 村でこんにゃくいもをたくさん育てている人の数
1 9 4 6 年前	・ K 村でこんにゃくいもが少しずつ育てられるようになる。	・ K 村のこんにゃくいも生産量
2 4 4 1 年前	・ おとうさんがこんにゃくいもをつくりはじめたので、 <u>手つだいながら育て方をおぼえる。</u>	8 0 人以上 ・ 1 7 0 , 0 0 0 kg
3 4 3 1 年前	・ <u>N さん自身で、こんにゃくいもを育てはじめる。</u> (<u>田畑をすべてこんにゃく畑に</u>) (<u>はじめはしっばいのれんぞくで、こんにゃくいもがぜんぜんとれなかったことも</u>) ・ 人に聞いたり、自分でいろいろためしたりしながら、 <u>育て方の勉強</u> をする。	
4 0 2 5 年前	・ <u>こんにゃくいものねだんがグンと下がる。</u> <u>村で、こんにゃくいもを育てる人がだんだんへっていく。</u>	
5 2 1 3 年前	・ 村の M 地区に <u>こんにゃくを作る “ 加工販売所 ”</u> ができる。	
6 5 (今)	・ <u>こんにゃくいもを老人会の人にたのんで育ててもらったり、小学生 (ぼくたち) に育て方をおしえたりしながら、<u>今も K 地区の畑でこんにゃくいもを育てつづけている。</u></u>	
		8 人 ・ 5 , 0 0 0 kg このうち、 きょう年、N さんが育て たこんにゃ くいもは... <u>1 , 0 0 0 kg</u>

資料3 “へボの神様”といわれるMさん年表(77歳)

4年生の子どもたちに紹介し“教室掲示”として使用

歳	“へボ”にかかわるおもなできごと
0	・ K村 K地区に生まれる
1 1	・ 「体をきたえなあかん。」A県のおじさんが山につれ出す。 <u>山を歩き回るうちにへボ追いやへボ飼いのしかたを学ぶ。</u>
1 5	・ E市に転校。 <u>自分一人で“へボ飼い”をはじめる。(土の中にとってきた巣をうめるだけ)</u>
2 1	・ K村にもどって、農業や林業をする。
4 0	・ <u>いろいろ研究して、今でも使っているへボの巣箱を考えつく。その巣箱で“へボ飼い”をするようになる。</u>
6 7 平成6年	・ K村で <u>へボ愛好会</u> ができる。“ <u>会長</u> ”にえられる。 ・ <u>女王バチの保存をはじめる。「はじめたころは、ほとんど死なせてしまった。」</u> ことも。
6 8	・ <u>女王バチまで育てる“へボの家”が完成。</u> 冬の間、 <u>会員にも保存する女王バチをあずかってもらう</u> ようにする。
7 0	・ <u>全国へボサミット</u> がK村で行われ、 <u>会長として話をする</u> などかつやくする。
7 2	・ <u>全国地バチ連合会</u> ができる。“ <u>会長</u> ”にえられる。(本部・K村)
7 7 (今)	・ ひまさえあれば山に入ってへボ追いをしたり、 <u>巣箱で飼っているへボの世話をしたり、へボにかかわることを村民にアドバイスしたりして、<u>今もへボ中心の生活を続けている。</u></u>

その他の参考資料（3年）



資料4 3種類の蒟蒻
中央がK村特産品。
他製品については生産
地等明らかにしない。



資料5 特産品マップ
E事務所産業労働課
所蔵
K村のこんにやくに
着目できるように矢
印で示す。



資料6 K村・蒟蒻畑
村のこんにやく畑は、「どこに・どの
ようなところにあるかを調べよう」
見学の視点をなげかけておく。



資料7 K村・蒟蒻加工販売所
「中にある機械や働いている人のして
いることをよく調べよう」見学の視点
をなげかけておく。



**資料8 同じ時期に植えた蒟蒻芋の育ちぶりの
違い（K村とG市）**
葉や茎の違いに着目するように助言する。



資料9 地形を強調したジオラマ
扇風機の風が、子どもにとっての
“台風の風”として提示する。
手前G市、後ろK村のジオラマ。



**資料10 土中にしみ込む水
の違い**
土の違いを実感できるように
同量の土と水を入れて提示する。



**資料11 Nさんの畑土と
学級園の畑土**
子どもが気付かねば、色・
手触り・におい・中身。4
つの視点で比べるように問
いかける。



資料12 Nさんの堆肥づくり
十分な手間がかけられていることに気付くことができるように青字に着目して考えるように助言する。



資料13
Nさんと学級園の蒟蒻芋
AがNさんの芋



資料14 土作りが施されていない土(サバ土)
3年間のNさんの土作りの努力が、土の違いとなっていることに気付くことができるように現在の畑土と比べて考えるように助言する。

その他の参考資料(4年)



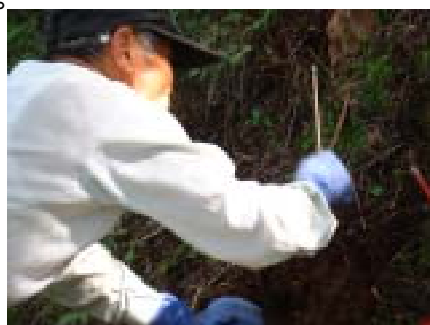
資料15 ヘゴ飯
Mさんの奥様が炊いて下さった。
食べることに抵抗を示す子には無理に勧めない。



資料16 「想山著聞奇集」
一部を資料として使用。



資料17 ヘゴ追い
Mさんがする行為をよく見て、「なぜそうするのか」を考えるように助言しておく。

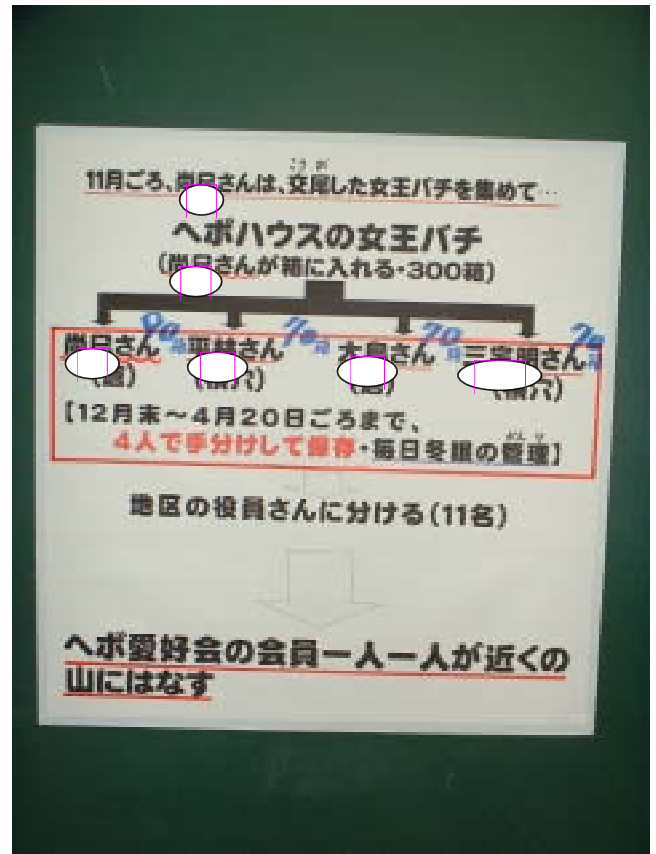


資料18 Mさんの生掘りの様子(VTR)
Mさんの表情や手先に着目してVTRを見るように助言する。



資料 19 Mさんの生掘りの手順

今後のヘボ飼いに対する M さんの願いに気付くことができるように赤字や青字に着目して考えるように助言する。



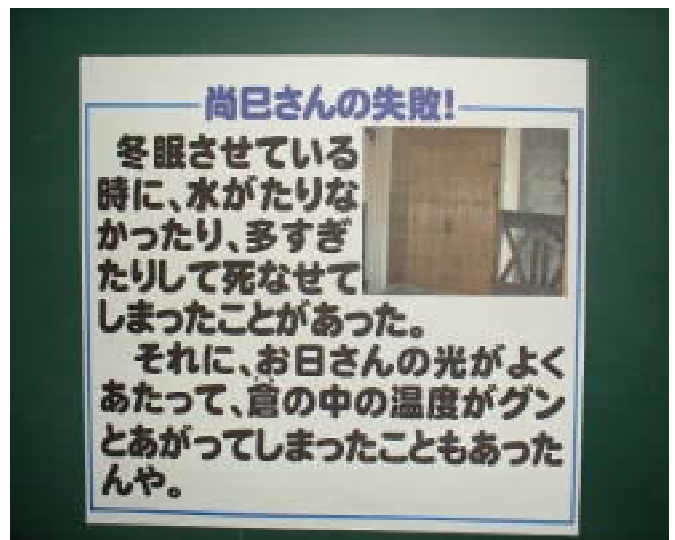
資料 20 Mさんの保存～放ち

M さんの“手分け”と“会員一人一人による放ち”の事実を導入で押さえる。



資料 21 会員の協力のもと、女王バチを解き放つ場所

M さんの自宅、会員の自宅、女王バチを放つ場所が K 村全体に渡っていることに気付くことができるように作成。子どもたちが村民やヘボのことに気付けるように、M さんが女王バチを会員に配ったり、自宅周辺だけに放ったりしていない根拠を考えるように助言する。



資料 22 Mさんの失敗

一人だけで保存していることの危険性について気付くことができるように、資料 21 の“手分け”とつなげて考えるように助言する。



4 cm

資料23 女王バチ一匹だけでつくる巣
“村全体のへボ保存”というMさんの願いに子どもたちが共感できるように、授業の終末に提示する。